

平成 30 年度 狛江市市民活動支援センター第 1 回臨時運営委員会 議事録

- 1 日 時 平成 30 年 9 月 10 日 (月) 午後 7 時～午後 8 時 30 分
- 2 場 所 市民活動支援センター フリースペース
- 3 出席者 委 員 青木香奈 伊藤輝芳 伊藤聡子 内海貴美 小川三男 大矢美枝子
萩野修 佐藤新哉 松村正俊 松村雪子 三島瑞子 渡辺敏政
事務局 小楠寿和 高橋宗孝 斎藤あや子 白石珠美 高橋善治 日比野浩
(50 音順 敬称略)
- 4 欠席者 上田英司 千葉桂樹
- 5 傍聴者 1 名
- 6 議 題 1 協議事項
①次期指定管理に伴う 5 か年事業計画 (素案) について (資料 1)
2 報告事項
① 指定管理業務の報告について (7 月 1 日～8 月 31 日) (資料 2)
②専門部会からの報告
- 7 配布資料 2019 年度予算について
2019～2023 年度狛江市市民活動支援センター5 か年事業計画について
狛江市市民活動支援センター指定管理業務報告書 (7 月 1 日～8 月 31 日)

8 会議概要

1 開会

委員長からあいさつがされた。

2 議題

(1) 協議事項

2019 年度予算について

— 事務局より資料 1 に基づき説明 —

(委員長)

事務局より説明があったが、委員の皆さんから、質問や要望等あればご意見を伺いたい。

(委 員)

諸会費について、センターが関係機関やネットワークに入ることだと思うが、具体的にどのようなところになるか。

(事務局)

ボランティア連絡協議会と東京災害ボランティアネットワークに加えて、日本 NPO センターに関わりを持ち、NPO の支援についても充実していけるようにと考えている。

(委 員)

業務委託費がかなり増えているのは、どのような割合になるか。

(事 務 局)

新しく調査研究の業務委託費の割合が大きい。

(委 員)

調査研究は具体的なところまで決まっているか。

(事 務 局)

細かいところまでは決まっていない。項目等の詳細については小委員会のような形で検討していきたいと考えている。想定としては、市民を対象とした市民活動全般に関わる調査と活動団体を対象とした調査になる。

(委 員)

計画では、前期で検討し後期で調査ということになっているがそのような予定か。」

(事 務 局)

そのような予定でいる。

(委 員)

人件費について、一人増員と勤務体制の変更ということだがどのようなことか。

(事 務 局)

現在は職員 5 名体制だが、うち 2 名は週 3 日の勤務体制になっている。今後、相談件数が増えていく中で継続して相談対応していくためには、週 3 日の勤務では無理があると判断した。勤務日数を増やして体制を整え相談に対応できるようにしたい。

(委 員 長)

それでは予算については以上とする。

(2) 報告事項

①2019～2023 年度 5 カ年事業計画について (資料 2)

—資料 2 に基づき事務局より説明 —

(委 員 長)

5 カ年の事業計画にかかった委員の方からのご意見を伺いたい。

(委 員)

内容については事務局から説明していただいたが、これから 5 年の指定管理を受けるにあたり、いろいろな立場からも考えて、文言等を修正した。

(委 員)

読んで分かりやすく理解されやすいような表現に修正することは、難しいものだった。

(委員長)

この事業計画は、3年後に見直しをするということで考えてよいか。

(事務局)

その予定で考えている。

今後の流れとしては、市のヒアリングと業者選定委員会を経るが、議会の承認を得て決定されることになる。

②指定管理業務報告（7月1日～8月31日）について

—資料2に基づき事務局より説明—

(委員長)

委員の皆さんからご質問等あれば出していただきたい。

(委員)

フリースペースの優先利用について、スポーツ吹き矢のイベントは団体からの企画として実施したのか。

(事務局)

高齢者だけでなく、子どもたちにも体験してもらいスポーツ吹き矢の普及をしていきたいという思いを団体として持っていて、実施に至った。

(委員)

こまえくぼのフリースペースでやろうと思ったきっかけはあるか。

(事務局)

体験学習部会の国際交流のイベントのプログラムの中で、スポーツ吹き矢を取り入れて行う予定だったが、日程が合わずに断念した。この時のアプローチが直接のきっかけとなった。

③専門部会からの報告

■ホームページ部会

- ・9月12日に上和泉地域センター利用団体を中心にホームページの利用説明会を行う予定。
- ・ホームページをわかりやすくするために少しずつリニューアルをしている。

■体験学習部会

- ・8月12日（日）に「国際交流 遊んで学ぼう」というイベントを実施。18名の子どもが参加し、KGF（Komae Global Friends）の協力を得て行った。

■広報部会

- ・広報誌「こまえがお」第6号（11月15日発行予定）にむけて、進行中。

(委員長)

7月の豪雨災害の募金活動の結果が情報紙に載っていたと思うが、教えてほしい。

(事務局)

情報誌「えくぼ」に掲載したが、義援金が90,296円、支援金が57,645円だった。社協と一緒に実施をし、中央共同募金会を通じて送金をした。

(委員)

印刷機を導入したと思うが、もっとPRしてはどうか。活動団体にとってはありがたいと思う。広報部会の募集についてはどんな状況か。

(事務局)

広報部会の応募状況は、今のところまだない。

(委員)

印刷機はだれでも利用できるか。

(事務局)

市民活動支援センターは、公益的な活動を支援していくことを前提としているので、誰でもということではなく、登録団体が利用できるということになる。

(副委員長)

第三者評価についてどのようになっているか。

(事務局)

市民参加と市民協働に関する審議会から第三者評価の結果をいただいた。A～Eの5段階評価でDであり、センターのPRについては、もう少し努力してほしいとの評価だった。

(委員)

Dについては悪いということではなく、もう少しほかの方法をとることもできるのではないかとこの投げかけだけではなく提案の部分もある。

(委員長)

市民参加と市民協働に関する審議会が行う市民フォーラムの中で出された課題をどうにかたちで解決していくのか。市民活動支援センターと参加と協働に関する審議会が協働で解決するなどにはできないか。

(副委員長)

運営委員会と市民参加と市民協働に関する審議会とがお互いに話し合う機会を得ることはできないかと思う。

(委員)

市民参加と市民協働に関する審議会は、参加と協働の全体を見ているので個々の課題についてどうしていくかということを検討していくことは現状では難しいと思うが、要望があったことについては審議会に伝えるようにしたい。

(委員)

運営委員会としては、市からどう評価されたのかということを知りたい。それを運営委員会に

は言ってほしいので、検討してもらいたい。

(事務局)

本日資料として提示できなかつたので、あらためてお伝えできるようにしたい。

3 その他

(1) 市長表敬訪問について

委員長より、8月27日(月)に市長を表敬訪問し、30分と短い時間だが市民活動についての意見交換をしたことについて報告があった。

以上で本日の運営委員会は終了とする。

次回臨時運営委員会

12月10日(月)19時～